

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

消費税増税の中止を求める請願

【請願趣旨】

消費税8%増税の下で日本経済は最悪の状態です。あわせて物価値上げと年金・医療・介護など社会保障の負担増で、家計は悲鳴を上げています。大企業の業績がよくなれば、やがて暮らしや中小業者に回ってくると言いますが、いくら待っても、若者も、子育て世代も、お年寄りも、中小業者もぎりぎりの生活です。日本の貧困率も最悪です。

こんな状態で消費税を10%に増税すれば、暮らし・経済破壊は決定的です。ほんの一部の食料品などを8%に据え置く「軽減税率」を導入しても、一世帯あたり6万2000円の負担増になると政府は試算しています。しかも「軽減(複数)税率」は中小業者に過重な納税実務とコストを押し付け、経営を圧迫するだけです。

消費税は、所得の少ない人ほど負担が重く、貧困と格差を拡大し「自分らしく生きる自由」さえ奪う税制です。負担軽減が必要だと言うのなら税率そのものを引き下げるべきです。

庶民に消費税増税を押しつけながら、史上最高の儲けをあげる大企業にさらに減税するのではなく、所得や資産の能力に応じた税制に転換すべきです。大軍拡の道をやめて、暮らしや社会保障、中小業者にまわし、内需主導で家計をあたためる経済政策をとるべきです。そうすれば、消費税を増税しなくても、社会保障の拡充も財政再建の道も開かれます。

以上の趣旨により、次のことを求めます。

【請願事項】

消費税増税を撤回し、10%への引き上げはやめること

氏 名	住 所

消費税廃止各界連【取り扱い団体

】